

# あおぎり

## スキー教室終わる！6年生2年ぶりのスキー教室

5・6年峰の原スキー場



1月23日（金）雪、3・4年生は飯綱リゾートスキー場で、2月6日（金）曇り、5・6年生は峰の原スキー場で、それぞれスキー教室を行いました。

3年生は初めてのスキー教室でしたが、指導員の方の指導により上手に滑れるようになりました。4年生は2回目なので、楽しく滑ることができました。5年生は飯綱リゾートでの滑りを生かして、急な斜面に挑戦し怖がらずに滑ることができました。6年

生は2年ぶりのスキー教室でしたが、3・4年時の経験と指導員の方の指導を基に、満足いく滑りができるようになりました。小学校では4回だけのスキー教室ですが、これを機会に少しでも冬のスポーツに親しんでほしいと思います。スキー教室実施にあたり、各家庭では準備をしていただきありがとうございました。

## 2月18日の校長講話内容

人とのかかわりについてのお話をします。

皆さんはお友だちと仲良く生活できていますか。お互いのよさを知り、認め合っていますか。

これから、「クレヨンのくろくん」の本を紹介します。（スライドで1枚1枚映し、朗読）

新品のクレヨンがありました。「退屈でいやになっちゃうなあ」。ある日、黄色君が飛び出した。「ずうっと、新品のままなんてもういやだよ」。そう言って、机の上をトットコトットコ走って行くと。何と画用紙を見つけました。「うわわ！大きくて、真っ白い！」。黄色君は、思わず……。クルクルクルッと、画用紙に蝶を飛ばしてみました。何て良い書き心地！最高だよ」黄色君は大喜び。「そうだ。蝶にはお花が必要だね。」。そこで、黄色君は……。お母さんと、ピンクちゃんを呼んできました。お母さんと、ピンクちゃんも、大きな画用紙を見ると、大喜び！グルグルグルッと、お母さん、チューリップを、ツラツラツラッと、ピンクちゃんがコスモスを咲かせました。

（途中、省略）

「僕らの絵ができたぞ！」。クレヨンたちは、初めての絵に大満足。すると、黒君がやってきて言いました。「ねえ、僕は？僕はどこを描けばいいの？」。みんなは言いました。「黒君は間に合っているよ」。「綺麗に描いた絵を黒くされたら、たまらないよ……」。みんなは黒君を仲間に入れてくれません。

「どんどん描こう」。「もっともっと描こう」。みんなは、楽しそうに続きを描きはじめました。「何で僕って、こんな色なんだろう……」。黒君が寂しそうにしていると、シャープンのお兄さんが慰めてくれました。「元気出せよ。黒君」。何だか



クレヨンたちが騒ぎ始めました。「私の描いた上に、描くのはやめてよ」。「君こそ、僕の上に描くなよ」。描くことに夢中になり過ぎて、クレヨンたちの絵はめちゃくちゃになってしまいました。

そこで、シャープペンのお兄さんが黒君にこっそり言いました。いきなり、みんなが描いた絵の上にビューッと頭を滑らせました。ビューッ ビューッ ビューと、頭の形が変わるほど、真っ黒にしてしまいました。

みんなは、びっくりして言いました。「黒君！君、何てことをしてくれるんだ」。「僕らの絵が真っ黒になっちゃったじゃないか」。すると、シャープペンのお兄さんがにっこりして言いました。「みんなこれを見てくれよ」。ツツツと、体を滑らせ、黒君の描いた黒を削っていくと・・・。

あっという間に、大きな花火が、いくつも夜空に浮かびました。「僕らの絵が花火になった！」。「シャープペンのお兄さん、どうもありがとう」。クレヨンたちは大喜びです。「おっと、お礼なら黒君に行ってくれよ。花火は黒君がいたからできたのさ」。クレヨンたちは、黒君を囲んで言いました。「黒君、さっきはごめんよ」。「黒って、すごいね」

人それぞれによさがあります。そのよさを大いに発揮することは、大事なことです。でも、お互いが自分を強く出し過ぎると、けんかや争い事が絶えなくなり、仲よくしたり協力したりすることができなくなります。

楽しく仲よく生活していくには、お互いの気持ちを考えて、お互いが尊重し合うことです。お互いのよさを認め合うことです。そんな人になってください。

数学の体験授業



## 6年生、中学校一日体験入学

進学する中学校での体験入学が2月17日（火）午後に行われました。道路を歩く途中、担任がどんな部活に入るの？と聞くと、「科学部」とか「テニス部」とか答えて、既に自分なりに夢をもっていることが伺えた。会場に着くと、靴をきちんと並べ、真剣なまなざしで臨んでいた。途中、中1の代表（本校卒業生）の司会進行で、校歌・四部合唱も聞かせてもらった。体験授業を終えた子どもたちからは、「授業は楽しかったです！」との返事と笑顔が返ってきた。中学校の礼儀正しさと落ち着きを感じることもできました。中学進学に向けてしっかりと準備をしてほしいと思います。

### 体罰をはじめとする非違行為防止へ取り組んでいます

森上小学校では、体罰をはじめとする非違行為防止、職員の綱紀粛正・服務規律保持、交通安全意識の徹底、スクールセクハラ・パワハラ等についての職員研修を年間通して行い、資質の向上に努めています。いじめや体罰については、いじめアンケート（児童対象）や保護者アンケートの記述欄等で確認をしておりますが、心配なことがありましたら、教頭、保健室、特別支援コーディネーターが相談窓口となっておりますのでご相談ください。教職員一同教育公務員であることを自覚し、森上小学校の児童のためにがんばって参りたいと思います。

※県教育委員会では、「体罰に関わる相談窓口」を設けています。

下記まで封書、電話、ファックス、メール等で相談ができますので、ご活用ください。

宛 先 長野県教育委員会義務教育課 「体罰に関わる相談窓口」宛

住 所 〒380-8570 長野市南長野幅下692-2 Tel 026-235-7426 Fax 026-235-7494

E-mail taibatsu-sodan@pref.nagano.lg.jp